

社会デザイン工学科の カリキュラム

TC22台用

◆これから説明を始めます

- ・**筆記用具**を準備して下さい

社会デザイン工学科のカリキュラム

- 今後の心構え
- 社会で活躍できる技術者の養成
- 学習・教育到達目標
- 科目の構成（カリキュラム・ツリー）
- 科目の一覧
- まとめ

今後の心構え

卒業に必要な単位

- **卒業認定単位 130単位**
共通教育科目（総合教養科目、外国語、保健体育科目）
26単位以上
工学共通科目 18単位以上
専門教育科目 86単位以上
必修73単位、選択13単位以上
- **関門**
2年⇒3年 60単位
3年⇒4年 100単位

・関門に惑わされてはいけない
→**必要最低限**の単位数に過ぎない

卒業に必要な単位

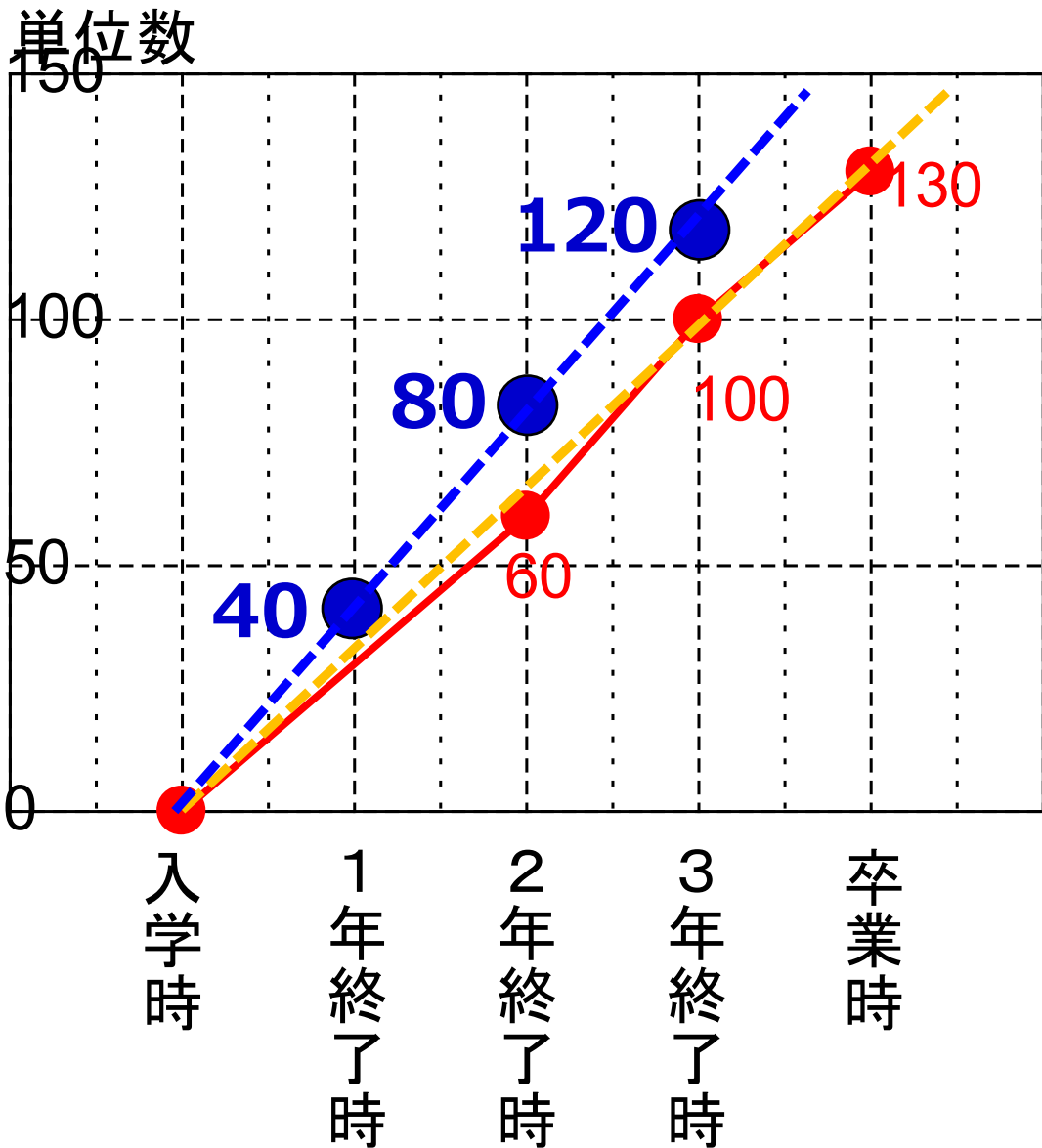
- 4年生 **就職活動 + 卒業研究 + 講義**
 - 4年次は想像以上に忙しい
 - 4年次に講義に振り回されないようすることが大事
- 1～3年生 **40単位** × 3 = **120単位**をベースに考える
 - 内容はどんどん**難しく**なる

• 1年前期 → 後期 → **2年前期** → **後期** →

※ **実は専門必修科目は2年次が最も多い**

- 1年間で**40単位**以上取得するつもりで！

常に関門より20単位上乗せで考える



メール返信の重要性

メール返信の状況			留年確率
返信早い	宛名・自分の名前を書く	一言添える	ほぼ0%
		添えない	20%
	宛名・自分の名前を書かない	一言添える	存在しない
		添えない	40%
返信遅い	宛名・自分の名前を書く	一言添える	存在しない
		添えない	40%
	宛名・自分の名前を書かない	一言添える	存在しない
		添えない	60%
返信なし	宛名・自分の名前を書く	一言添える	存在しない
		添えない	存在しない
	宛名・自分の名前を書かない	一言添える	存在しない
		添えない	80%以上

メール返信しない学生は、**8割**以上の確率で**留年**する！
 (教職員からの連絡には必ず反応しましょう)

社会で活躍できる技術者の養成

社会デザイン工学科

社会で活躍できる技術者の養成

- 社会デザイン工学科が対象とする分野は、ものづくりのスペシャリストを養成する工学部の中でも公共空間をデザインする分野であるという点で他学科とは大きく異なります。
- また、日々の暮らしの空間から地図に載るほど大きなものまで、地域環境から地球環境まで多岐に渡っています。このため、学習内容も幅広い分野に及んでいます。
- このような分野で活躍できる技術者を養成するため、本学科のカリキュラムは基礎力の定着を図りつつ幅広い分野への興味にも対応できるよう、6分野に渡ってバランスよく配置された専門教育科目により構成されています。また環境分野にも力を入れており、それらの科目が充実していることも特徴です。

1. 技術者教育認定制度とは

大学など高等教育機関で実施されている技術者教育プログラムが、社会の要求水準を満たしているかどうかを外部機関が公平に評価し、要求水準を満たしている教育プログラムを認定する専門認定（Professional Accreditation）制度である。

日本技術者教育認定機構（JABEE : Japan Accreditation Board for Engineering Education / 設立 1999年11月19日）は、技術系学協会と密接に連携しながら技術者教育プログラムの審査・認定を行う非政府団体である。

▶ 2008年に認定

JABEEの特典

- ① JABEEコース修了扱いとなり**技術士 1 次試験が免除**される
(申請すれば技術士補となる)
- ② 4 年間の実務経験を経て技術士 2 次試験の**受験資格**を得る
(合格すれば晴れて技術士に)
- ③ **就職活動**で有利に働く！
- ④ 民間企業(建設会社、特に建設コンサルタント)においては、
技術士は高く**評価**される (多くの場合給料も上がる。)
- ⑤ JABEEは国際的な相互認証機関となりつつある
(**海外でも評価**される。)

社会デザイン工学科の 学習・教育到達目標

・ A～Iの9項目

A : 〈グローバル思考能力の修得〉

B : 〈責任感・倫理観の育成〉

C : 〈工学の基礎的知識の修得〉

D : 〈専門的知識の修得〉

E : 〈デザイン能力の修得〉

F : 〈コミュニケーション能力の修得〉

G : 〈自主・継続学習能力の修得〉

H : 〈目的完遂能力の修得〉

I : 〈柔軟対応能力の修得〉

社会デザイン工学科の 学習・教育到達目標

A：〈グローバル思考能力の修得〉

地球規模で幅広く考え、自然との調和が課題となる九州という地域に根ざしてグローバルに物事を考える能力を修得する。

社会デザイン工学科の 学習・教育到達目標

B : 〈責任感・倫理観の育成〉

技術が社会や自然に及ぼす影響や効果を十分に理解し、技術者としての責任感と倫理観を養う。

社会デザイン工学科の 学習・教育到達目標

C : 〈工学の基礎的知識の修得〉

応用数学、物理または化学、情報技術を修得し、それらを建設工学の学習ならびに問題解決へ応用する能力を修得する。

社会デザイン工学科の 学習・教育到達目標

D：〈専門的知識の修得〉

建設工学の主要3分野*以上に関する専門的知識を持ち、それらを建設分野の基本的問題の解決に応用できる能力を修得する。

建設工学の主要分野*：構造系，水理系，地盤系，計画系，
材料・施工系，環境系（以上6分野）

社会デザイン工学科の 学習・教育到達目標

E : 〈デザイン能力の修得〉

人文・社会科学関連科目、建設工学を支える基礎科目と専門科目の知識を活用して、社会の要求に対する実現可能な解を見出すことのできるデザイン能力を修得する。

社会デザイン工学科の 学習・教育到達目標

F : 〈コミュニケーション能力の修得〉

実現可能な解をデザインし 実行するために必要不可欠な、市民を含む多様な関係者との間の円滑なコミュニケーション能力を修得するとともに、国際的コミュニケーションの基礎能力を養う。

社会デザイン工学科の 学習・教育到達目標

G：〈自主・継続学習能力の修得〉

社会の変化、要求に柔軟に対応する自立した技術者として常に成長できるよう、自主的かつ継続的に学習を続ける習慣、能力を修得する。

社会デザイン工学科の 学習・教育到達目標

H：〈目的完遂能力の修得〉

環境保全、経済合理性、自然との調和が課題となる九州の地域特性などの種々の制約条件のもとで、自立した一人の技術者、チーム力を有する技術者、さらには建設プロジェクトのリーダーとして、仕事をやり遂げる能力を修得する。

社会デザイン工学科の 学習・教育到達目標

I : 〈柔軟対応能力の修得〉

社会・経済の環境変化に注意を払い、自らの仕事を客観的に評価し、必要に応じて柔軟に軌道修正できる PDCA サイクル*の実践能力を修得する。

PDCAサイクル* : Plan (計画) → Do (実行) → Check (評価) → Act (改善) の 4段階を繰り返すこと

社会デザイン工学科の 学習・教育到達目標

- A～Iの9項目

A : 〈グローバル思考能力の修得〉

B : 〈責任感・倫理観の育成〉

C : 〈工学の基礎的知識の修得〉

D : 〈専門的知識の修得〉

E : 〈デザイン能力の修得〉

F : 〈コミュニケーション能力の修得〉

G : 〈自主・継続学習能力の修得〉

H : 〈目的完遂能力の修得〉

I : 〈柔軟対応能力の修得〉

目標を達成するために、
学科が用意する
科目群とその構成



学科カリキュラム

社会デザイン工学学科の 科目構成 (カリキュラム・ツリー)

Webシラバスより

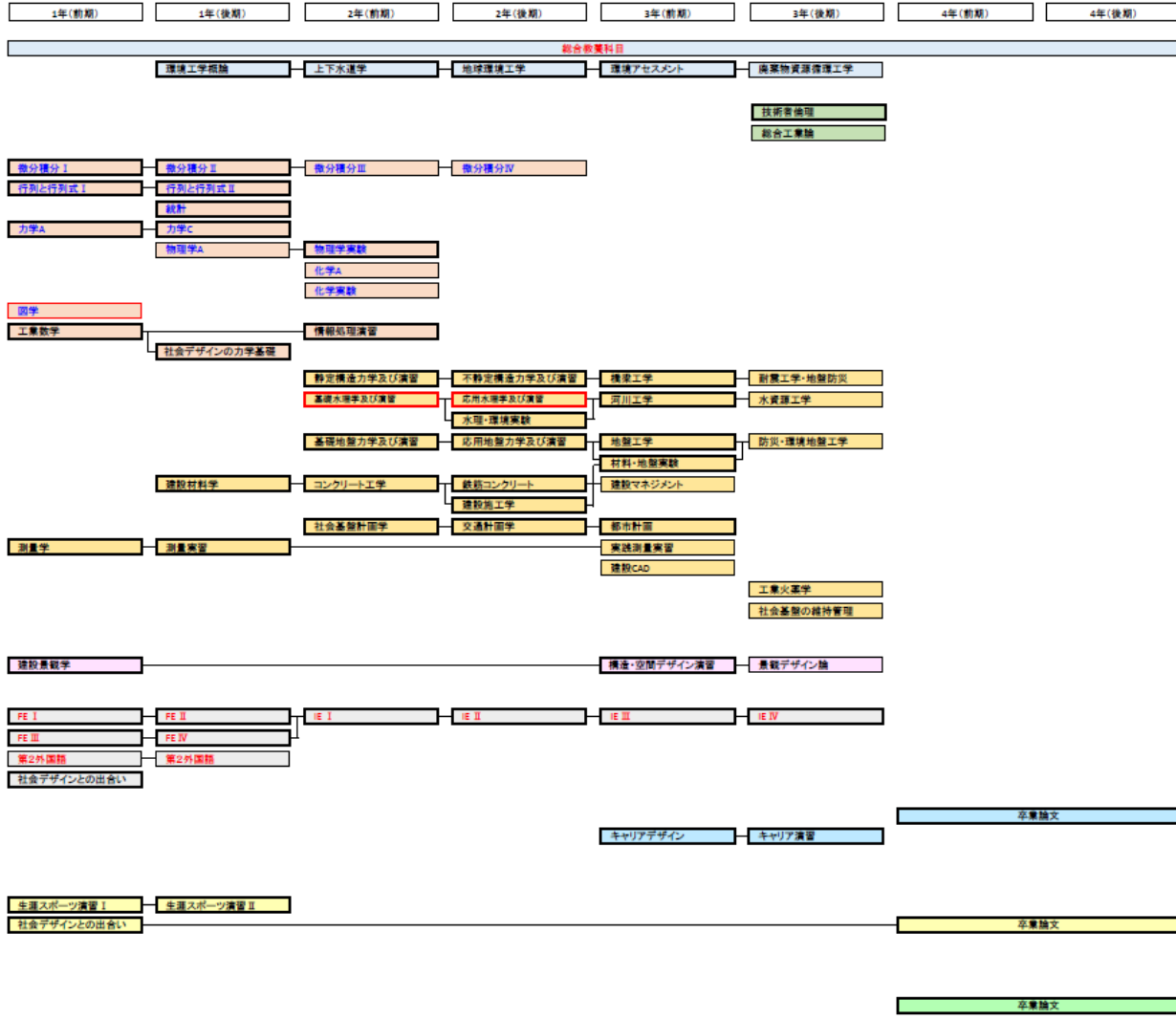
カリキュラム・ツリー<社会デザイン工学の学位教育プログラム>

※社会デザイン工学の学位教育プログラムはJABEE(日本技術者教育認定機構)による認定プログラムとなっています。学習・教育到達目標とは、JABEEが掲げる技術者が身に付けておくべき9つの能力を、本学科の特色にあわせて具体化したものです。

黒字:専門教育科目 青字:工学共通科目 赤字:共通教育科目 太枠:必修科目 細枠:選択科目

学習・教育到達目標※

- A: (グローバル思考能力の修得)**
地球規模で幅広く考え、自然との調和が課題となる九州という地域に根ざしてグローバルに物事を考える能力を修得する。
(ディプロマ・ポリシー-C-6に対応)
- B: (責任感・倫理観の育成)**
技術が社会や自然に及ぼす影響や効果を十分に理解し、技術者としての責任感と倫理観を養う。
(ディプロマ・ポリシー-C-4に対応)
- C: (工学の基礎的知識の修得)**
応用数学、物理または化学、情報技術を修得し、それらを建設工学の学習ならびに問題解決へ応用する能力を修得する。
(ディプロマ・ポリシー-A-2, B-1に対応)
- D: (専門的知識の修得)**
建設工学の主要三分野以上に關する専門的な知識を持ち、それらを建設分野の基本的問題の解決に応用できる能力を修得する。
(ディプロマ・ポリシー-A-1, B-3に対応)
- E: (デザイン能力の修得)**
人文・社会科学関連科目、建設工学を支える基礎科目と専門科目の知識を応用して、社会の要求に対する実現可能な解を見出すことのできるデザイン能力を修得する。
(ディプロマ・ポリシー-A-3, C-2に対応)
- F: (コミュニケーション能力の修得)**
実現可能な解をデザインし実行するために必要不可欠な、市民を含む多様な関係者との間の円滑なコミュニケーション能力を修得するとともに、国際的コミュニケーションの基礎能力を養う。
(ディプロマ・ポリシー-B-2に対応)
- G: (自主・継続学習能力の修得)**
社会の変化、要求に柔軟に対応する自立した技術者として常に成長できるよう、自主的かつ継続的に学習を続ける習慣、能力を修得する。
(ディプロマ・ポリシー-C-3に対応)
- H: (目的達成能力の修得)**
環境保全、経済合理性、自然との調和が課題となる九州の地域特性などの様々な制約の条件下で、自立した一人の技術者、チーム力を有する技術者、さらには建設プロジェクトのリーダーとして、仕事をやり遂げる能力を修得する。
(ディプロマ・ポリシー-C-4に対応)
- I: (柔軟対応能力の修得)**
社会・経済の環境変化に注意を払い、自らの仕事を柔軟的に調整し、必要に応じて柔軟に軌道修正できるPDCAサイクルの実践能力を修得する。
(ディプロマ・ポリシー-C-3に対応)



社会デザイン工学 科のカリキュラム 科目の一覧

工学部 社会デザイン工学科

		第1・2・3・4年次															
		第1年次				第2年次				第3年次				第4年次			
		授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数		
共通教育科目	総合教養科目	人文科学	2	人文科学	2	人文科学	2	人文科学	2	人文科学	2	人文科学	2	人文科学	2		
		社会科学	2	社会科学	2	社会科学	2	社会科学	2	社会科学	2	社会科学	2	社会科学	2		
	自然科学	自然科学入門	2	自然科学入門	2	自然科学入門	2	自然科学入門	2	自然科学入門	2	自然科学入門	2	自然科学入門	2		
		自然科学発展	2	自然科学発展	2	自然科学発展	2	自然科学発展	2	自然科学発展	2	自然科学発展	2	自然科学発展	2		
	国際化	国際化教育	2	国際化教育	2	国際化教育	2	国際化教育	2	国際化教育	2	国際化教育	2	国際化教育	2		
		国際化教育	2	国際化教育	2	国際化教育	2	国際化教育	2	国際化教育	2	国際化教育	2	国際化教育	2		
	情報教育	情報教育	2	情報教育	2	情報教育	2	情報教育	2	情報教育	2	情報教育	2	情報教育	2		
		情報教育	2	情報教育	2	情報教育	2	情報教育	2	情報教育	2	情報教育	2	情報教育	2		
	教育科目	第1	英語	1	英語	1	英語	1	英語	1	英語	1	英語	1	英語	1	
			英語	1	英語	1	英語	1	英語	1	英語	1	英語	1	英語	1	
第2		フランス語	2	フランス語	2	フランス語	2	フランス語	2	フランス語	2	フランス語	2	フランス語	2		
		フランス語	2	フランス語	2	フランス語	2	フランス語	2	フランス語	2	フランス語	2	フランス語	2		
		フランス語	2	フランス語	2	フランス語	2	フランス語	2	フランス語	2	フランス語	2	フランス語	2		
		フランス語	2	フランス語	2	フランス語	2	フランス語	2	フランス語	2	フランス語	2	フランス語	2		
		フランス語	2	フランス語	2	フランス語	2	フランス語	2	フランス語	2	フランス語	2	フランス語	2		
		フランス語	2	フランス語	2	フランス語	2	フランス語	2	フランス語	2	フランス語	2	フランス語	2		
運動体育科目		1	運動体育科目	1	運動体育科目	1	運動体育科目	1	運動体育科目	1	運動体育科目	1	運動体育科目	1			
単位互換科目		他大学（都府県立大学を含む）の授業科目のうち、工学部教養会が選定し認める科目															
工学共通科目	必修科目	1	物理学	2	物理学	2	物理学	2	物理学	2	物理学	2	物理学	2	物理学	2	
	小計	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16		
	選択科目	2	化学	2	化学	2	化学	2	化学	2	化学	2	化学	2	化学	2	
	小計	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4		
	計	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16		
専門教育科目	必修科目	2	社会デザイン工学概論	2	社会デザイン工学概論	2	社会デザイン工学概論	2	社会デザイン工学概論	2	社会デザイン工学概論	2	社会デザイン工学概論	2	社会デザイン工学概論	2	
	小計	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10		
	選択科目	2	社会デザイン工学概論	2	社会デザイン工学概論	2	社会デザイン工学概論	2	社会デザイン工学概論	2	社会デザイン工学概論	2	社会デザイン工学概論	2	社会デザイン工学概論	2	
	小計	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10		
	計	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16		

社会デザイン工学科のカリキュラム まとめ

- 社会で活躍できる技術者の養成
- 学習・教育到達目標
- 科目の構成（カリキュラム・ツリー）
- 科目の種類
- 科目の一覧

しっかりした履修計画をたてること